

【科目名】	心理学概論		【担当教員】	宮岡 里美
【授業区分】	教養分野(人文科学)	【授業コード】	1-01-0035-0-2	(メールアドレス)
【開講時期】	前期	【選択必修】	必修	miyaoka@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】	1	【コマ数】	15 コマ	(オフィスアワー) 月～金9:00-17:30(講義時間帯以外)
【注意事項】				
(受講者に関わる情報・履修条件)				
<p>本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。医療及び地域保健機関で言語・高次脳機能障害及び摂食嚥下機能障害等のリハビリテーションに従事してきた経験から、人の心や行動の基本的な仕組みとはたらき及び心のケアについて講じていきます。心理学の基礎知識は、多種多様な専門職のすべての人に必要なものとなっています。特に、将来医療・保健・福祉・教育等の分野で活躍することを希望する場合には受講していただきたいと思えます。本科目は、リハ心理学専攻の学生にとっては必修であり、認定心理士または公認心理師の資格取得のための指定科目です。</p>				
(受講のルールに関わる情報・予備知識)				
<p>この科目では20分以上の遅れで「遅刻」となります。申し出のない途中退室は欠席と見なします。他者に迷惑となる行為が認められた場合は、講義室から退出していただきます。試験結果・授業中に実施した心理テスト等のデータは、支障のない限り返却します。資料は全受講生に配付します。欠席した場合には、後日担当者から受け取り、必ず参照しておいて下さい。講義後にレポートを課す場合があります。また、心理テストも授業時間内に随時実施していきます。</p>				
【講義概要】				
(目的)				
<p>心理学の成り立ち(歴史)と、人の心の基本的な仕組み及び動きを学びます。心理学における代表的分野について、それぞれの歴史的経緯と基礎知識を学び、人間の行動についての理解を深めていきます。医療、保健、福祉等の臨床現場で、対象者の“こころ”を推察し、適切な配慮ができるよう、臨床応用にも触れていきます。当該科目と学位授与方針との関連性; A-2, P-1, O-1, S-3, R-2</p>				
(方法)				
<p>Power Point スライドを使用しての講義が中心となります。随時、関連する心理テスト等を演習形式で実施していきます。内容は、原則指定教科書と参考書に準じます。</p>				
【一般教育目標(GIO)】				
<p>対象者の“こころ”を推察するために、どのような観点で他者の言動を観察すればよいのかを学ぶ。他者と適切な対応ができ、必要がある場合には適切な心の支援ができる。</p>				
【行動目標(SBO)】				
<p>各領域の目的(学習到達目標)を説明できる。 各領域における“問題”や“障害”を知る。 それぞれの問題や障害に対する対処法を自身で考え、実践することができる。</p>				
【教科書・リザーブドブック】				
二宮克美編著「ベーシック心理学」第2版, 医歯薬出版, 2016年, 2,900円+税				
【参考書】				
<p>繁枘算男(編集)「心理学概論(公認心理師の基礎と実践 第2巻)」遠見書房, 2018/4/3, 2,592円 フレデリックセン他(著) 内田一成(監訳)「ヒルガードの心理学」金剛出版, 2012/5/31, 23,100円 梅本堯夫/大山正編著「心理学への招待 ~ こころの科学を知る ~ 」サイエンス社, 1992年, 1942円+税</p>				
【評価に関わる情報】				
(評価の基準・方法)				
下記の評価基準により、100点満点で60点以上を合格とする。				

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		80				20			100
評価指標	取り込む力・知識	40							40
	思考・推論・創造の力	20							20
	コラボレーションとリーダーシップ	20							20
	発表力					20			20
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	「精神的健康」 メンタルヘルス/ストレス	講義	指定教科書p.48-52 ・心が健康とは何かを説明できる ・ストレスとは何かを説明できる	10
2	「精神的健康」 演習 ストレス度の測定 医療・福祉における「コミュニケーション」 “優しい目、大きな耳、小さい口、広いこころ”	講義 一部演習	指定教科書p.150-153 ・心の健康が損なわれるとどのような状態となるのかを知る ・心の健康を測定できる	10
3	「パーソナリティ」 パーソナリティの記述	講義	指定教科書p.54-59 ・パーソナリティの特徴とその記述法を知る ・パーソナリティの主な分類法を学ぶ	10
4	「パーソナリティ」 パーソナリティの測定法	講義	指定教科書p.60-63 ・パーソナリティの測定はどのように調べられるのかを学ぶ	10
5	「パーソナリティ」 障害：境界性パーソナリティとは？	講義	指定教科書p.63-65 ・パーソナリティの障害を説明できる	10
6	「パーソナリティ」 演習：Y-G性格検査	演習	指定教科書p.60-61 ・パーソナリティを適切に測定できる	10
7	「知能」 知能の定義	講義	指定教科書p.68-71 ・知能の定義を説明できる ・知能の構造を知る	10
8	「知能」 知能の測定/知的障害	講義 一部演習	指定教科書p.71-79 ・知能をどのように測定するのかを学ぶ ・知能検査開発の歴史的経緯を知る	10

9	「思考」 思考とは？/問題解決	講義	指定教科書p.82-86 ・「考えるとは？」を説明できる ・思考と言語の関係を理解できる ・問題を解決する方略（思考）を知る	10
10	「思考」 創造性	講義 一部演習	指定教科書p.86-92 ・推論とその誤りを知る ・新たなものを創り出すプロセスを学ぶ	10
11	「人間関係」 対人認知/帰属理論	講義	指定教科書p.126-131 ・他者の印象形成につて学ぶ ・自身や他者の言動の原因のとりえ方について知る	10
12	「人間関係」 対人魅力	講義	指定教科書p.131-134 ・人を好きになる、あるいは嫌いになる要因は何かを学ぶ	10
13	「集団」 集団の心理/社会的影響	講義	指定教科書p.136-143 ・集団の特徴と分類を学ぶ ・他者の存在が個人に及ぼす影響を説明できる	10
14	「集団」 態度	講義	指定教科書p.143-148 ・態度の適応的機能を知る ・態度の変容を促す手法を学ぶ ・社会と個人の相互関係について理解する	10
15	まとめ			